

重粒子線治療

— がん治療の新たな選択肢 —

婦人科がん



山形大学医学部
東日本重粒子センター
EAST JAPAN HEAVY ION CENTER
FACULTY OF MEDICINE - YAMAGATA UNIVERSITY
山形大学医学部附属病院

『重粒子線治療』を

お勧めする 3 つの理由

1 効き目が強い

他の放射線に比べ破壊力が強く、今まで効きにくいとされてきた骨肉腫などにも効果を発揮します。

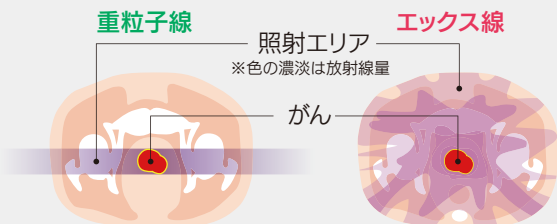
2 正常臓器への負担軽減

がんに集中的に照射が可能で、周りの正常臓器にはダメージが少ない治療です。

3 短期間で治療できる

他の放射線と比べ、重粒子線は照射回数が少なく、概ね半分以下の短い期間で治療できます。

重粒子線とエックス線の照射範囲の違い



重粒子線のほうがエックス線より少ないビームでがん集中させることができ、正常組織に当たる範囲や量を抑えることができます。

※すべての照射が完了した際の照射影響範囲
イラストは前立線がんの場合のイメージです。

婦人科がんについて

重粒子線治療の対象となる場合

手術による根治切除ができない場合や十分に手術の説明を受けられた上で手術を拒否された場合

- 局所進行性子宮頸部腺癌
- 局所進行性子宮頸部扁平上皮癌（長径6cm以上のものに限る）
- 悪性黒色腫（婦人科領域の臓器から発生した悪性黒色腫に限る）

重粒子線治療の適応とならない場合

- 病気が他臓器へ広範に進展・転移している場合
- 治療範囲内に活動性の感染がある場合
- 上記に対して、過去に手術や抗がん剤の治療を受けた場合
- 子宮体癌の場合



プライバシーに配慮し、個室の待合室をご用意しております。
通いながら治療できる環境をご用意し、患者さんの負担軽減に努めます。

治療の流れ

STEP
1

紹介 (FAX)

受診中の医療機関より地域医療連携センターまでFAXを頂くことで初診日のご案内をいたします。

※疾患や病状によって受診を早める場合もあります。

【約2週間】

STEP
2

初診

産科婦人科・重粒子線外来を受診していただき、適応確認後に重粒子線治療の説明を行います。

【1日】

STEP
3

治療準備

治療中に使用する固定具を患者さん毎に作製し、装着した状態で治療計画用のCTを撮影します。

※追加で検査を行ったり、MRIを撮影することがあります。

【1日～2日】

STEP
4

治療計画

重粒子線をがん集中させるためのシミュレーション計算を行い、有効性と安全性の確認を行います。

※この期間は患者さんの受診はございません。

【約2週間】

STEP
5

重粒子線照射治療

重粒子線は1日1回の照射で計16・20回（約4・5週間）の照射を行います。治療時間は概ね20～30分以内に収まります。

※抗がん剤を週に1回併用いたします。

※治療日は火曜日～金曜日の4日間です。原則、土・日・月は装置の点検日になります。

【約4・5週間】

STEP
6

腔内照射

重粒子線治療に加えて、組織内治療併用腔内照射を3回行います。

※重粒子センター隣接の医学部附属病院で受けていただけます。

【2・3週間】

STEP
7

経過観察

ご紹介元の主治医の先生と当センターの両方で経過観察を行います。

治療をご希望の方へ

まずは主治医の先生にご相談ください

治療に際して

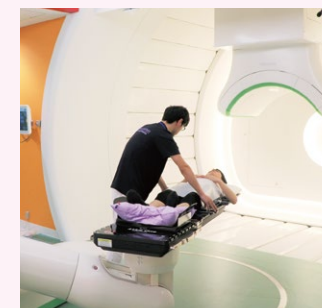
重粒子線治療の期間中には抗がん剤を週1回、計5回併用します。また、重粒子線治療後には腔内照射という通常の放射線治療を組み合わせる場合があります。治療中は食欲不振や下痢などが出現しやすく、症状に合わせて処方を行います。治療後数ヶ月以降の副作用は消化管出血や膀胱出血、骨折などがあり、これらの副作用は一度起こると回復は困難です。

公的医療保険適用の治療です

子宮頸部腺がん、腫瘍径6cm以上の子宮頸部扁平上皮がん、婦人科領域原発の悪性黒色腫に対する重粒子線治療はいずれも公的医療保険の対象となっており、自己負担額はその1～3割で高額療養費制度*の適用が受けられます。

※最新の情報は厚生労働省のホームページをご覧ください。

回転ガントリー照射室



上下左右や斜めなど、いろいろな方向から治療部位にピンポイントで重粒子線を照射しますので、患者さんは楽な姿勢のまま治療を受けることができます。国内で回転ガントリーを使用している重粒子線治療施設は、当センターおよびQST病院（千葉市）の2施設だけです。

アクセス

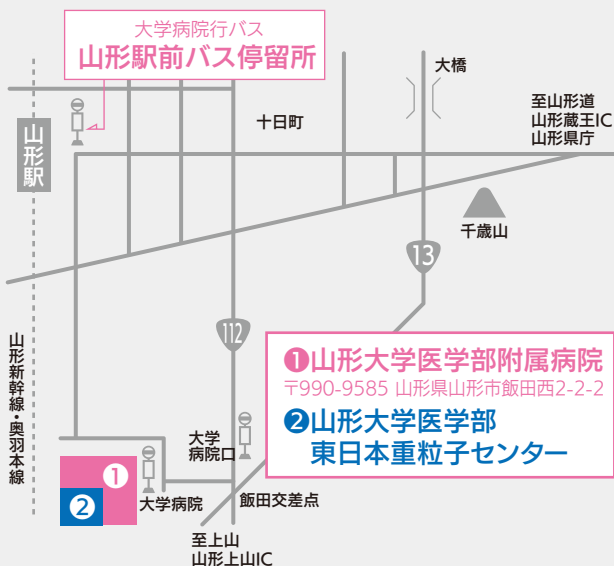
● タクシー

JR山形駅から約10分

● バス

仙台駅前から上山行き高速バス(山交バス・宮城交通)23番乗り場乗車、大学病院口下車(約75分)

山形駅前から大学病院・東海大山形高行きバス(山交バス)乗車、大学病院下車(約15分)



お問い合わせ

山形大学医学部東日本重粒子センター事務室

TEL 023-628-5404

受付時間 9:00~17:00(土日祝日を除く)

東日本重粒子センター

検索



山形大学医学部
東日本重粒子センター
EAST JAPAN HEAVY ION CENTER
〒990-9585 山形県山形市飯田西2-2-2
山形大学医学部附属病院



GREEN PRINTING JFPI
P-B10196
この印刷製品は、環境に配慮した
素材と工場で製造されています。



©2020 Yamagata University
All Rights Reserved.